

カラー 特集	2
第48回世界選手権大会(団体戦)	
カラー ハイライト	6
平成18年度春季関東学生リーグ戦	
カラー ハイライト	8
平成18年度関東学生新人選手権大会	
グラフィック 特集	10
第48回世界選手権大会(団体戦)	
フロントランナー	15
近藤欽司(NT女子監督)	
チャンピオンズ・テクニク	18
王勵勤(中国)	
プレーメン観戦記	20
中島正憲(佐賀県高体連卓球専門部委員長)	
日本の肖像	22
勝俣恒久(東京電力社長)	
としまえん・ニッター講習会	24
楊光炎先生、近藤欽司先生	
大会報道・記録	27
平成18年度春季関東学生リーグ戦	
大会報道・記録	32
平成18年度関東学生新人選手権大会	
この人のこの言葉	34
藤井基男(卓球愛好家)	



4月27日林、愛知県豊田中学校卓球部がニッターを企業訪問(上)。右は3月30~31日の2日間、秋田県鹿角市で行われた劉坤坤選手の講習会

練習のヒント	36
織部幸治(ITS三鷹代表)	
新・中学生のための技術講座	38
田村明人(元群馬県中体連委員長)	
気ままにタイムアウト	40
佐藤正喜(日産自動車監督)	
アープでワープ	41
山中教子(サウンド球賞代表)	
第12回日本レクリエーション大会	51
各地ラージボール大会	52
一隅を照らす	55
沼尾憲弥・啓子(栃木県)	
第5チャンネル	42
ピンポン東西南北	44
各地レポート	45
みんなのコーナー	56
編集室	56

Message

世界選手権プレーメン大会(団体戦)で日本女子チームは、3大会連続銅メダルを獲得した。

その原動力の一つに福岡春菜選手(現・中国電力)の代表選出と起用法がある。

1月の全日本終了後に代表選手が発表された。「福岡春菜」。そこには福岡選手の名前があった。近藤欽司NT女子監督は、1年前から福岡選手の起用を考えていました、とインタビューの中で語ってくれたが、大方の人は知るよしもなかった。

日本の「秘密兵器」と考えていた近藤監督だったが、代表選出については最後の最後まで悩んだと言う。

兵法で、「敵を欺くには、まず味方から」、という格言があるが、心ひそかに温め、批判はあえて受ける覚悟で

大会に臨んだ。

結果はご覧の通りである。

見事、期待に応えた。

「代表に決まってからは、王子サーブの練習を徹底的にしました」と福岡選手。

日本でテレビ観戦をした人たちをはじめドイツ人観衆、あるいは世界の代表選手が、改めて「王子サーブ」の威力を目の当たりにした。

85年のイエテポリ大会で初出場の宮崎義仁選手(現・男子監督)が、「ミヤザキ・サーブ」を武器に、団体3位、シングルスベスト8と大活躍したが、それに勝るとも劣らぬ活躍だった。

ますますの活躍を期待する。

(片野)